

2009年1月26日
株式会社日立製作所

日立と南アフリカ共和国科学技術省が技術者を育成するプログラムを創設

株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下、日立)は、このたび、南アフリカ共和国科学技術省(以下、DST)と共同で、南アフリカ共和国の若手技術者を育成する「日立-DST 南アフリカ技術者育成スカラシップ・プログラム」を創設しました。今回のスカラシップ・プログラムは、南アフリカ共和国の電力関連企業で働く若手技術者を日本に招聘し、日立の工場での実習や日本の電力会社訪問などを含む5ヶ月間の技術研修プログラムを行うものです。

日立とDSTは、本プログラムの募集を1月末に南アフリカ共和国で実施し、3月末には3名の日立への技術派遣者を決定します。選抜された技術者は、9月に来日し、2010年2月まで技術研修を行う予定です。

日立とDSTは、今回のスカラシップ・プログラムにおいて、南アフリカ共和国の電力関連企業で働く若手技術者の育成を支援することを目的にしています。2008年5月に横浜市で開催された、アフリカの開発をテーマとする国際会議であるTICAD IV(第4回アフリカ開発会議)でも、アフリカ地域における人材育成支援の重要性が指摘されました。こうした背景も含め、近隣諸国にも電力を供給している南アフリカ共和国において、日立はDSTと共同で、本プログラムを実施することを決定しました。

南アフリカ共和国では、電力需要が堅調に伸びており、今後も多くの新規発電プラントの建設が計画されています。日立は、2007年10月と2008年に3月に、南アフリカ共和国の大手電力会社であるEskom社から、環境に配慮した効率性の高い石炭火力発電プラント用ボイラー設備一式を受注しており、南アフリカ共和国での石炭火力発電設備のプロジェクトにも積極的に参画しています。

■照会先

株式会社日立製作所 マーケティング統括本部 グローバル事業本部 渉外部 [担当:山野、山崎]
〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
電話 03-4564-5577(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
